

福岡県におけるウイルス性肝疾患の診療に関するアンケート調査

研究分担者：鳥村 拓司 久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門 教授

研究協力者：井出 達也 久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門 准教授

研究要旨：【背景】C型肝炎、B型肝炎の抗ウイルス治療がめざましく進歩しておりC型肝炎はほぼ全例でウイルスの排除ができ、B型肝炎もウイルスのコントロールは容易になってきた。しかし、病院などに通院しているにもかかわらず、未だ治療を受けずに肝硬変、肝癌に進展している例が問題となっており、今回肝臓非専門医におけるウイルス性肝炎患者の診療に関してアンケート調査を行うこととした。【方法】福岡県下の肝臓非専門医を対象にアンケートを郵送し、FAXにて回答を得る。【結果】アンケート送付に関して、福岡県と福岡県医師会からの協力を得た。福岡県医師会は、会員へアンケートが行われる旨の連絡を行っていただいた。2018年12月にアンケートを送付し、現在回収中である。【結語】今年度は、アンケート送付を県、医師会の協力を得て、実施することができた。今後は、アンケート結果を解析し、肝炎医療の問題点を解明していく予定である。

A. 研究目的

C型肝炎、B型肝炎の抗ウイルス治療はめざましく進歩しておりほぼウイルスのコントロールが行えるようになってきた。しかし、通院しているにもかかわらず、未だ治療を受けずに肝硬変、肝癌に進展し、その後紹介される例が散見される。肝機能正常で、ウイルス検査を行う機会がなかった例は、看過されても仕方ない症例が存在するかもしれないが、ウイルス性肝炎が陽性であっても、適切な医療や経過観察を怠り、専門医への紹介が無い遅れる症例が散見される。専門医への紹介がなぜ行われないのか、行わない場合の理由などを解明することが目的に、福岡県における肝臓非専

門医を対象にアンケートを行い、実態を把握することとした。

B. 研究方法

福岡県における非肝臓専門医を対象とした。主に100床以下の有床病院と無床のクリニック、医院で、すべての科を対象とした。また介護施設、緩和ケア施設は対象外とした。福岡県医師会からは、医師会を通じてアンケートが行われることを周知していただく形で協力を得られた。

（倫理面への配慮）

医師向けのアンケートであり、患者に影響が直接及ぶものではないため、倫理面への問題はないと判断した。

なし

C. 研究結果

アンケート内容を、次ページに掲載した。
アンケートは、2,795 医療機関を選定し、
2018年12月に送付を行い回収中である。

D. 考察

E. 結論

今年度は、アンケートを配布した時点であるので、考察結論は来年度に報告したい。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Ide T, Koga H, Nakano M, Hashimoto S, Yatsushashi H, Higuchi N, Nakamuta M, Oeda S, Eguchi Y, Shakado S, Sakisaka S, Yoshimaru Y, Sasaki Y, Honma Y, Harada M, Seike M, Maeshiro T, Miuma S, Nakao K, Mawatari S, Ido A, Nagata K, Matsumoto S, Takami Y, Sohda T, Kakuma T, Torimura T. Direct-acting antiviral agents do not increase the incidence of hepatocellular carcinoma development : a prospective, multicenter study. Hepatol Int. 2019 Feb [in press]
- 2) Kawaguchi T, Ide T, Koga H, Kondo R, Miyajima I, Arinaga-Hino T, Kuwahara R, Amano K, Niizeki T, Nakano M, Kuromatsu R, Torimura T. Rapidly growing hepatocellular carcinoma after direct-acting antiviral treatment of chronic hepatitis C. Clin J Gastroenterol. s12328.

2. 学会発表

G. 知的所有権の出願・取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特になし

提出先：福岡県肝疾患相談支援センター（久留米大学消化器内科医局） 行
FAX：0942-34-2623

該当する選択肢の□にチェックを入れるか、ご記入ください。(いずれも複数回答可)

Q1. 診療科目は何ですか？

- 【内科系】 一般内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 腎臓内科
 糖尿病内科 内分泌内科 人工透析 漢方内科 その他 ()
- 【外科系】 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 その他 ()
- 【その他】 精神科 神経内科 麻酔科 アレルギー科 リウマチ科
 リハビリテーション科 放射線科 その他 ()

Q2. 肝臓専門医がいますか？

- 肝臓専門医がいる。 肝臓専門医はいない。

Q3. ウイルス性肝炎の患者はいますか？

(できましたらおおよそでかまいませんので現在通院中の患者数もご記入ください)

- いる B型肝炎 → 約 () 人
C型肝炎 → 約 () 人
- いない (→Q6へ)

Q4. Q3で「いる」と答えた方に、フォローアップについてお知らせください。

- 先生ご自身でフォローアップ（採血、画像診断など）を行う。
 専門医療機関へ紹介、相談や共診をしている。
 患者の希望を優先させる。(ex 専門医に紹介しようとしたが患者が断った)
 その他 ()

Q5. Q3で「いる」と答えた方に、治療方針などはどのようにしていますか？

- 先生ご自身で治療方針を判断後、治療を行った(ている)。
 専門医療機関へ紹介後、ご自身で治療を行った。
 専門医療機関へ紹介し、治療を依頼した。
 その他 ()

Q6. 肝炎ウイルスに感染した患者さんを診察した場合、専門医療機関へ紹介されていますか。

- 必ず紹介する。 症例や場合によって紹介する。 紹介しない。

Q7. 肝炎ウイルスに感染しているにもかかわらず、専門医療機関に紹介しない例がある場合、その理由について教えてください。

- 患者さんが断るから(断られる理由をご記載ください))
 紹介先がわからないから 自院で対応できるから
 紹介状を書く時間がないから 治らないと思うから (次ページへつづく)
 治療が不要だと思うから
 その他()

